

書籍中、図1.17、図1.19、図1.21に誤りがありました。
お詫びして訂正します。正しい図を以下に示します。

図1.17

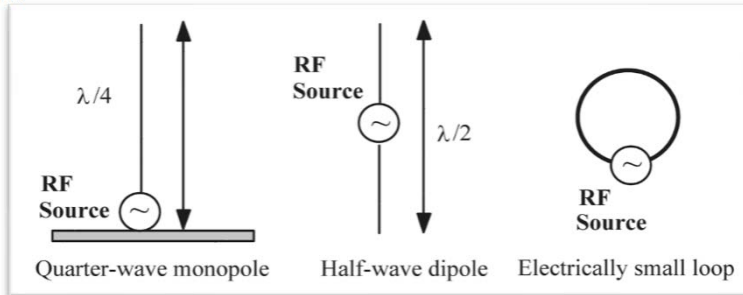


図1.19

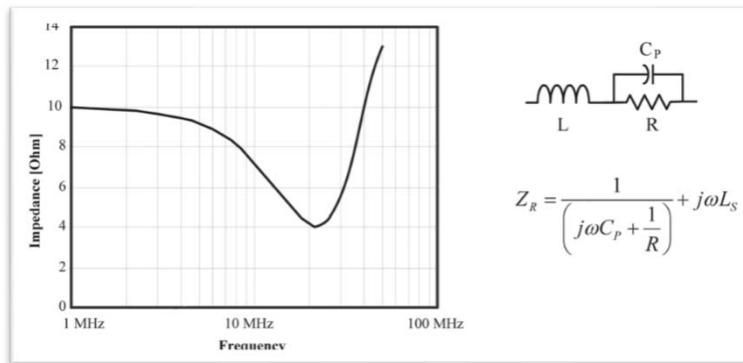
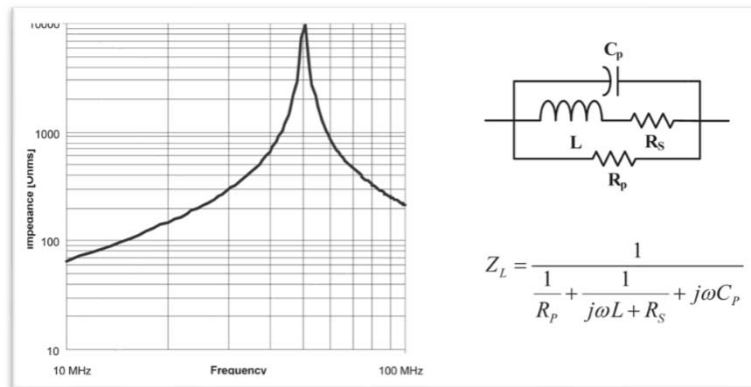


図1.21



2021/6/25追記

第2章 p.58左下

伝送線路に高インピーダンスの不連続がある場合には、必ず反射が発生します。
しかしながら不連続が特性インピーダンスより低い値である場合には反射は発生しません。

この文章を以下のようにお詫びして修正します。

伝送線路で大きなインピーダンスの不連続があれば反射は必ず発生します。
しかしながら、不連続におけるインピーダンスの変化が伝送線路の特性インピーダンスの値より小さい場合に、
反射は生じにくくなります。